「子宮頸がん専修学校連携セミナー」開催報告

子宮頸がんは、近年、２０代～３０代の若い女性に増えていますが、この世代の方が、子宮頸がんに関する正しい知識を持つ機会が少ないのが現状です。

そこで、愛知県では、学生の皆さんに正しい知識を持っていただくため、平成２６年度から**大学、専修学校と連携し、セミナーを開催**する取組を行っています。

令和８年度は２回（８月と１０月）を予定しており、８月は１回目を次のとおり開催しました。

日時　令和８年８月３１日（月）午前１０時～午前１１時３０分
方法　対面開催
主催　愛知県・学校法人立志舎 名古屋動物専門学校
参加者　上記専修学校の学生・教職員等　１８名



講演①　がんは予防できると思いますか？

＜講師＞
愛知県がんセンター研究所
がん情報・対策研究分野長　伊藤　秀美　先生
＜内容＞
伊藤先生には、がんができる仕組みと原因、がんを予防するための生活習慣、早期発見と早期治療の大切さについてお話いただきました。また、若い女性に増えている子宮頸がんの症状や原因についてもご説明いただき、子宮頸がん検診についての啓発を行っていただきました。



講演②　「がん体験者のお話」

＜講師＞　神野　麻弥　さん
２０２０年にがんに罹患され、現在は秘書としてご活躍されています。
＜内容＞
がんの体験者である神野さんから、仕事とがん治療の両立や闘病時のご経験についてお話をいただきました。そして、ご自身の体験を踏まえ、人と人とのつながりが大きな支えになること、がんを知ることが自分と誰かを守ることに繋がることなど学生の皆さんにメッセージをいただきました。



参加者アンケート回答者（１８名）の５０％が「子宮頸がんの主な発生原因が HPV 感染であること」を知らず、また、２７％の方が「子宮頸がん検診が２０歳から推奨されていること」を知らない、という結果でした。

愛知県では、今後もこのようなセミナーを実施し、若い世代の方に、がんとがん検診についての正しい知識を持っていただく機会を増やしていきたいと思います。

＜参加者アンケート（自由記述欄）より＞

＊　とても貴重なお話が聞けたと思っています。実際に経験した方のお話はなによりも正確な情報で、ネットにはない情報までも知れるので来てよかったと思いました。がん予防の件は家族にもお話をしようと思いました。

＊　予防や検診は本当に大切なことだと改めて感じました。また初めて罹患経験者の方からのお話を聞いて、他人事ではないと思いました。自分の身体を守るためにしっかりと検診など受けていきたいと思います。

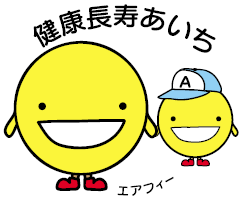
＊　子宮頸がんについてあまり考えたことがなかったけど自分ももうすぐ 20 歳なのでもっと詳しく調べたいと思いました。

「子宮頸がん大学連携セミナー」開催報告

子宮頸がんは、近年、２０代～３０代の若い女性に増えていますが、この世代の方が、子宮頸がんに関する正しい知識を持つ機会が少ないのが現状です。

そこで、愛知県では、学生の皆さんに正しい知識を持っていただくため、平成２６年度から**大学、専修学校と連携し、セミナーを開催**する取組を行っています。

令和８年度は２回（８月と１０月）開催し、２回目を次のとおり開催しました



日時　令和８年１０月２８日（水）１２時２０分～１２時５５分
方法　対面開催
主催　愛知県・愛知工業大学
参加者　上記大学の学生・教職員等　１２名

講演　がんは予防できると思いますか？

＜講師＞
愛知県がんセンター研究所
がん情報・対策研究分野長　伊藤　秀美　先生

＜内容＞
伊藤先生には、がんができる仕組みと原因、がんを予防するための生活習慣、早期発見と早期治療の大切さについてお話いただきました。また、若い女性に増えている子宮頸がんの症状や原因についてもご説明いただき、子宮頸がん検診についての啓発を行っていただきました。



参加者の皆様には熱心にご参加いただき、がんそのものについての原因や予防法から、女性特有のがんである子宮頸がん、乳がんについての予防や検診の重要性についても理解を深めていただくことができました。

参加者アンケート回答者の５０％が「子宮頸がんの主な発生原因がHPV 感染であること」を知らず、また、５０％の方が「子宮頸がん検診が２０歳から推奨されていること」を知らない、６７％の方が「今後子宮頸がん検診を受けようと思う」という結果でした。

愛知県では、今後もこのようなセミナーを実施し、若い世代の方に、がんとがん検診についての正しい知識を持っていただく機会を増やしていきたいと思います。